

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
349 栄養・食育事業（食生活や栄養に関する指導や講習会の開催）

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	1	健康づくりの推進
取組方針	1	生涯を通じた健康づくりの推進

事業種別	継続
事業期間	永年
事業実施の根拠法令	健康増進法
関連個別計画	健康わかやま21（第2次）、和歌山市食育推進計画
担当課・担当課長（Tel）	地域保健課 松浦 英夫（488-5119）
関連課	農林水産課、保健給食管理課、保育こども園課

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		地域保健費	
	大事業		地域保健事業	
事項		栄養・食育事業		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	市民の食生活を改善するための事業。 【小目的】市民の食や健康に対する意識が向上し、望ましい食生活を身に付けること。 【中目的】生活習慣病予防、健康の保持増進。 【大目的】市民の生活の質（QOL）の向上。	★各講習会の開催…講義や調理実習、エプロンシアター等による食生活改善及び栄養知識の普及。保健センターで開催する場合は、市報わかやまで募集を行うが、要請に応じて、各保育所やコミセン等で行う場合もある。 ★「自分の健康は自分の手で」を基本に活動する地区リーダー（食生活改善推進員）の養成。 ※食生活改善推進員とは、保健栄養学級を終了した者で、地域における食生活改善における実践活動を担っている。				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		【各講習会の開催】 栄養教室 23回351人 離乳食講習会 16回295人 【食育の健康教育】 およこの食育教室 6回142人 その他食育 8回 186人 保育所小学校訪問26回1456人 【食推の質の向上】 保健栄養学級 32回393人 食推ヘルスメイト講習会10回160人 男性料理教室 6回118人 生涯骨太クッキング 2回28人 糖尿病予防教室 1回25人 TUNAGU教室 2回56人	【各講習会の開催】 栄養教室 24回347人 離乳食講習会 16回301人 【食育の健康教育】 およこの食育教室 6回122人 その他食育 6回 98人 保育所小学校訪問30回1568人 【食推の質の向上】 保健栄養学級 32回295人 食推ヘルスメイト講習会9回156人 男性料理教室 6回115人 生涯骨太クッキング 1回16人 TUNAGU教室 2回31人	【各講習会の開催】 栄養教室 24回357人 離乳食講習会 16回286人 【食育の健康教育】 およこの食育教室6回134人 その他食育 4回 150人 保育所小学校訪問33回1746人 【食推の質の向上】 保健栄養学級32回329人 食推ヘルスメイト講習会9回146人 男性料理教室5回77人 生涯骨太クッキング2回22人 減塩推進キックアップ講習会2回17人	【各講習会の開催】 栄養教室 離乳食講習会 【食育の健康教育】 およこの食育教室 その他食育 保育所小学校訪問 【食推の質の向上】 保健栄養学級 食推ヘルスメイト講習会 男性料理教室 生涯骨太クッキング	【各講習会の開催】 栄養教室 離乳食講習会 【食育の健康教育】 およこの食育教室 その他食育 保育所小学校訪問 【食推の質の向上】 保健栄養学級 食推ヘルスメイト講習会 男性料理教室 生涯骨太クッキング

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	631	605	626	519	623	582	623		623	
伸び率（%）	-	-	▲0.8%	▲14.2%	▲0.5%	12.1%	0.0%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	12,254	10,846	10,846	10,744	10,504	9,660	10,075		
	正規職員以外	830	1,072	1,072	1,115	1,002	1,578	1,578		
	小計	13,084	11,918	11,918	11,859	11,506	11,238	11,653		
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	224	180	224	136	224	156	224		224	
一般財源（税等）	407	425	402	383	399	426	399		399	
所要人数（人）	正規職員	1.61	1.46	1.46	1.41	1.41	1.22	1.27		
	正規職員以外	0.39	0.55	0.55	0.51	0.51	0.72	0.72		
主な予算内訳	報償金90千円、管外出張旅費105千円、消耗品費420千円、各種会議負担金8千円									

3 目標及び実績

指標	指標名	単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	各講習会の開催回数	回	目標値	39	40	40	40	40
			実績値	39	40	40		
			達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%		
活動指標	食育の健康教育の開催回数	回	目標値					
			実績値	93	92	93		
			達成度(%)					
成果指標	望ましい食生活を身に付けた市民の数＝講習会参加者数	人	目標値	840	890	890	890	890
			実績値	646	648	643		
			達成度(%)	76.9%	72.8%	72.2%		
	食育の健康教育の受講者数	人	目標値	2,700	2,500	2,600	2,600	2,600
			実績値	2,630	2,401	2,621		
			達成度(%)	97.4%	96.0%	100.8%		

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	食生活は、市民の健康を維持増進する上でとても重要な役割を担っている。食生活の改善を目的とする当事業のニーズは高いため、縮小はせず現状維持とした。
見直し・改善内容	離乳食講習会については、平成25(2013)年度に、大幅に改善済(配布資料をよりわかりやすく詳しい内容となるよう全面的に見直しした他、離乳食の模型の展示およびアンケートで要望のあった試食を開始した)である。内容についても必要に応じて、随時見直しを行っている。平成27年度は、試食調理の応援人員(別の保健センターから1人応援に来る)の削減を検討したが、調理作業上、余裕がなくなるため、削減は難しいと判断した。 その他、保健栄養学級の調理実習のメニューについて、厚生労働省が示した基準に沿うよう内容の見直しを行う等、各事業内容について随時見直している。